

平成20年度 科学研究費補助金（特別推進研究）
事後評価結果

研究課題名	インスリン分泌システムの形成機構とその破綻	研究代表者名 (所属・職)	清野 進 (神戸大学・大学院医学系研究科細胞分子医学分野・教授)
-------	-----------------------	------------------	----------------------------------

研究課題の総合的な評価

該当欄	評価基準	
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い

評価意見

膵外分泌細胞からインスリン分泌細胞の誘導に成功し、トランスジェニックマウスではβ細胞に再生が見られることとその前駆細胞の候補を発見した。また、cAMPのインスリン分泌増強機構、消化管内分泌細胞のグルコース感知機構、糖代謝に関与する新転写因子 Dmbx1の機能解明、日本人II型糖尿病のSUR1遺伝子のSNPとの関連の証明、など糖尿病に関する多くの興味深い知見を得た。以上のことから、当初の研究目的は達成されたものと評価する。今後、ヒトのI型糖尿病にも照準を合わせ、研究者らが見出した前駆細胞の分化誘導研究を発展させて、膵移植・膵島細胞移植などが主流の現在の治療法に新しい展開を産み出すような進展を期待したい。また、今後はこれらの成果を統合して、どのように糖尿病の成因、診断、治療に関する新しい概念の提唱に至るかが課題の一つであろう。